

図書館ボランティア通信

調布市立図書館

●第4回ボランティアミーティングが開催されました

2月16日(火)、今年度最後となる第4回ボランティアミーティングが開催されました。当日はボランティア10名、館長はじめ職員7名に加え、市民活動支援センターの小林さんもお出席くださいました。



今回のミーティングでは「平成21年度の活動報告」と「平成22年度更新手続き」について案内させていただき、ボランティア参加者の意見交換を行いました。意見交換では、以下のような意見が出されました。

- ・雨の日に宅配で本を届けたら、こちらが恐縮するくらい感謝された。
- ・宅配回数が少ない分館なので、必要があれば他館の宅配も応援したい。
- ・ボランティアを長く続けていたら、本の配架場所を覚えて利用者にも案内できるようになった。
- ・修理の本がたいへん多い。これはブックポストに返却することで本が傷むためではないか。
- ・利用者からたずねられた資料を探せなかったことがあったので、今後は目的の資料をすぐに見つけられるようにしたい。
- ・以前よりボランティア同士のコミュニケーションが盛んになり、職員も声をかけてくれるようになったのがうれしい。
- ・今後も自分でできる範囲で続けていきたい。



最後に、市民活動支援センターの小林さんから、バンクーバーオリンピックの事例を挙げてお話がありました。オリンピックの運営や会場外警備などでもボランティアが活躍しています。選手の姿を見ることもなく、表に出ない地味な仕事を担っているボランティアがたくさんいるはずですが、それでも満足している人もいます。今後も、自分でできる範囲で進めていってほしいとのことでした。

●ボランティアのみなさんへの応援メッセージ

前号に引き続き、図書館職員、専門嘱託員の声を紹介させていただきます。

ボランティアのみなさんへの応援メッセージ

ていねいに書架を整理して下さったおかげで、予約のついた本をさがすのも早くできるし、とても助かっています。ありがとうございます。

気候がいつも温暖とは限らないなか、寒い日笑顔で宅配に行っていたいただき、いつも感謝しています。あくまでボランティアなので、ご無理のないように、何かありましたらおっしゃってください。これからもどうぞよろしく願いいたします。

いつも丁寧にいろいろな活動に取り組んでくださり、とても感謝しています。読書や調べ物をしている方のいらっしゃる館内ではなかなかお話することもできずにいますが、図書館へのご質問・ご意見・ご感想・気づいたことなど、どうぞ担当者へお伝えください。より使いやすい図書館にしていきたいと思っています。

いつも乱れた書架を整理して下さったり、配架して下さったりと本当にありがとうございます。終わりのない作業を黙々とこなして下さるのも、本への愛情のある方々だと思っております。“地域に開かれた図書館”をよりよい方向にご一緒に創りあげましょう！

ラベルが小さくて見にくい、また書架が高いもの低いものといろいろあり、大変な作業だと思います。無理せず、自分のペースで進めてください。これからもよろしくお願いします。